

江戸川病院通信

あおぞらだより

第 135 号 (発行/平成 26 年 8 月)

院内プログラム～『夏の味覚を楽しもう』企画
& 休診のお知らせ その他

運 転

江戸川病院院長 新村ヨシオ

運転とは機械や機関を操作し、対象物を動かしたり、走らせることである。身近なものは自転車でも車輛なので運転である。基本的には動力は人力から電気、内燃機関、ジェットやロケットまで種々雑多である。高度の技術を要求されるのは旅客機や汽船などの操縦で、宇宙飛行は極めつけである。公の場で運転するには免許証が必要である。免許証を発効するのは所轄の行政である。免許証の中で一番交付されているのは自動車運転用のものとされる。取得可能年齢人口の半数以上は取得している。職業運転手からペーパードライバーまで千差万別で、取得後の運転履歴によって技量にも大きな差異が生じて来る。

免許は原則的に更新制であって、生涯有効である。失効されると人権や生活権にも触れることなので、とても敏感な問題である。平成 23 年 4 月に栃木県鹿沼市で起こった 6 名の児童が亡くなった事故が契機になり、道路交通法（以下道交法）が改正され、にわかに精神科医療に負担がかかってきた。

免許取得後、運転を趣味にする人もいるし、通勤や買物の手段としたり、職業とする人もおり、活用はいろいろと変化していく。

運転できることによって行動範囲も拡がり、行楽地に行っては楽しい思い出も残せる。旅行や帰省で、多くの人との出会いや再会に感動したり、風景が網膜に残り、郷土料理に舌鼓を打ったことなど、車だからこそ味わえたことが良い

(→次ページに続く)

経験となった人も多いと思う。車社会になってからは道路も拡充され、遠方では日帰りが可能となり、ますます運転する頻度は多くなっている。運転も規則を守り体調を整え無理な計画でなければ、事故にも遭う確率が低い、なかには無謀な人もいるので事故は無くならない。事故に巻き込まれることもあるが、その原因を検討してみると事故車の運転者が病気だったことが判明することも多い。世論の盛り上がりもあるが、警察の原因究明への態勢や精度も高まり、疾病との因果関係にも目配りしてきたと言える。

運転免許取得や更新時の運用基準は、既に報道されている。身体的疾患・症状について、それぞれ運転免許の適否・取消等の基準が示された。統合失調症、てんかん、再発性の失神、無自覚性の低血糖症、そううつ病、重度の睡眠障害、その他の精神障害、脳卒中、認知症、アルコール等の中毒者が挙げられている。示された疾患や症状の10基準中、精神科対応となるのは7つが対象となるので、精神医療に負わされる責任は重大すぎる。警察庁によると平成23年における全取消処分件数906件のうち、認知症で438件(48.3%)、次にてんかんで292件(32.2%)、統合失調症(8.4%)と続いている。平成25年6月に改正法案が可決・成立した道交法によれば、疾患や症状によって意識障害・運動障害・重度の眠気によって自動車等の安全な運転に必要な認知、予測、判断又は操作のいずれか係る能力を欠くこととなる恐れがある場合に、免許の拒否又は保留の事由になると決められた。

運転更新時には病名の申告義務があり申告すると、公安委員会は本人に主治医の診断書の提出を求められる。主治医は疾患や症状と運転の適否の診断をしなくてはならないが、人権や生活権にも関わる問題なので慎重を要する。疾患や症状は個人差があり、それに薬物治療の影響も考慮しなければならない。病気は寛解となっても寛解を維持するため大量の薬が必要となる人もある。疾患の病因や症状によっても使用薬剤は違うし、用法・用量も個体差があり、副作用としての認知機能の低下、健忘、反射機能抑制、持ち越し効果、常用量依存などの問題もあり、判定に苦慮している。主治医と言っても、該当者の運転姿を見ることもないし、運転を得意とするのか不得手なのかは診療中には確認できない。生活の様子も殆んど観察しておらず重大な判定をするのは不可能である。見たこともない運転の技術も含めた総合判定を余儀なくされ、精神科医師も判断に苦しむ。運転したさに虚偽の申告も有りえるし、医師としては患者さんの利益を守る立場なので、全てを疑って問診はできない。この難題を主治医だからと言って責任をもたせることは行政の怠慢と思っている。申告があったら適性検査をして、その結果主治医に相談すべきと考えている。

院内プログラム～『夏の味覚を楽しもう』企画

外部講師の先生やボランティアさんをお招きしてのプログラムだけでなく、当院の作業療法士、臨床心理士が中心となり、毎日、さまざまなプログラムを提供しています。

スポーツやカラオケ、園芸、手工芸など、多種多様な活動がありますが、今号では7月29日に行われた『夏の味覚を楽しもう』企画をご紹介します。

夏の味覚と言えば、やはりかき氷です。

くるくるくる・・・



かき氷マシンを自ら回す方も・・・

少しレトロな感じがいいですね。
デイケアの方の手作りです。

イチゴ味が不動の人気？

つめたーい！！



そして・・・いただきます！！

さくさくさく・・・

会場の設営、飾りつけから肝心のかき氷作りまで、デイケアメンバーの皆さんが活躍されました。

後半は病棟の有志の方もお手伝いいただいたとのこと、お疲れさまでした&ありがとうございました。

召し上がった皆さんからは、「おいしい！」「かき氷は久しぶり！」の声が多く聞かれました。



お好みのシロップをかけて・・・

暑さも吹き飛ばすひととき、8月後半には第2弾も予定されています。お楽しみに！！

★暑さを乗り切る夏ばて防止レシピのご紹介 第2弾！

超かんたんラタトゥユ ～トマト缶を使ったお手軽レシピです。

【材料】(2人分)

ナス：1本、ズッキーニ：1/2本、エリンギ：1本、トマト(水煮缶)：1/3缶

【準備】

- ・ナスは斜め切りにして、水にさらす。ズッキーニも同様に切る。
- ・エリンギは食べ易いように縦に割き、適当な長さに切る。ぶなしめじ等でも。

【作り方】

- ①鍋にオリーブオイル(サラダオイルでも可)を入れて熱し、トマト以外の材料を炒める。
- ②しんなりしたら、トマト、塩小さじ半分、砂糖ひとつまみを加える。鍋全体にトマトになじんだら火を弱め、ふたをして3分ほど煮込む。
- ③火から下ろして冷やし、お好みでオリーブオイルや黒胡椒をかけてお召し上がりください。
※余熱もありますので、少し早いかな?というタイミングで加熱を止めてOKです。
※パプリカやオクラもトマトによく合います。ベーコンやソーセージを加えてボリュームアップもお勧めです。いろいろなアレンジを楽しんでくださいね。

※休診のお知らせ※

8月13日(水)、14日(木)、15日(金)の3日間、外来及び窓口業務をお休みさせていただきます。

ご不便をおかけしますが、宜しくお願い致します。

8月16日(土)は通常通りの診療となります。

江戸川病院 8月 院内行事予定

8月 誕生会	1, 2, 3 棟	8月23日(土) AM10:00~	ひまわり
	E棟	8月23日(土) PM2:00~	6Fホール
さくらんぼシアター		8月12日(火) PM2:00~	ひまわり

秋祭り

1, 2, 3 棟	9月12日(金) PM13:30~15:30	D棟機能訓練室
E棟	9月13日(土) PM14:00~15:00	D棟機能訓練室

盆踊り、ソーラン踊り、各種ゲーム(魚釣り、ボーリング、お菓子の掴み取り)など、楽しいプログラム盛りだくさんです！

◆編集後記◆

蝉の声がいつそう賑やかになってきた江戸川病院です。豊かな自然を四季折々に感じられる院庭は、職員にとっても大きな癒しとなっています。残暑厳しい毎日が続きますが、皆様もどうぞご自愛ください。

『あおぞらだより』に関するご意見・ご感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。

(内線 238、292)

医療法人社団 全生会 江戸川病院

〒278-0022 千葉県野田市山崎2702

電話 04-7124-5511 (代)

<http://www.edogawa-hp.com>